

業務部速報

発行者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2021年 11月 30日

「仙台支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について」

に関する解明申し入れ

2021年11月29日に申8号団体交渉を行いました。概要を記載します。
詳細など不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

団体交渉①

(1項)今施策の目的、メリットを明らかにすること。

(回答)社会の急速な変化に踏まえ、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、系統を越えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくものである。

【主な解明点】・目的は回答の通り。業務の融合により、これまでの役割分担にとらわれない働き方を今施策で実現する。お客さまにより近い箇所で活躍フィールドを広げ、変革2027のスピードアップを目指す。活躍フィールドが鉄道だけでなく、IT、生活サービスへも携われる。

- ・メリットに関して、特に乗務員における拘束時間の縮小については、列車のダイヤ、効率的なダイヤのつくり方にこれまで同様に向上に繋がるように努力していく。この施策によるデメリットは支社としては無い認識。
- ・今施策に関連し、必要な一定のコストはあるが、当社グループの生き残りをかけて実施していく。
- ・当該職場に関しては説明会を開催している。今後も必要に応じて行う。その他の職場においては、業務掲示・点呼などで周知している。
- ・指揮命令系統についてはしっかりつくる。各職場の呼び方についてはフロア名等で考えている最中。

(2項)今施策とこの間の施策の関連性を明らかにすること。

(回答)社会の急速な変化に踏まえ、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、諸施策について時間軸をしっかりと意識し、スピード感を持って積極的に推進、実現していく考えである。

【主な解明点】・ワンマン運転の拡大に関しては、ダイヤ改正の提案と同時期に示す。

- ・変革2027を踏まえたジョブローテーションに関連しては、育成ロスがないようにすることがベストだが、見習い期間中に絶対に転勤などにならないとは限らない。能力の管理がポイントになると認識している。
- ・転勤の際には、これまで通りコミュニケーションを取りながら業務内容を伝える。(事前通知の書式には、「〇〇統括センター、主務を命ずる」とのみ、記載の予定)面談のフォーマットに関しては全支社共通となるが、現時点で明確になっていない。本人の知識、技能、特性を踏まえ業務上の必要があれば、異動がある。
- ・駅の変革2027に関しては、システム等を活用しながら販売体制の見直しなど行っていく。(eチケットに関しては、中長距離ご利用のお客さまの大半を占めるようになってきている。)
- ・検修・電気・保線・土木・建築等のメンテナンス関係施策に関連しては、内容により兼務・連携を行っていく。フレキシブル欠勤に関しては、フレックスタイム制の適用箇所のみ。現行は郡山総合車両センター。今年12月1日から仙台電力技術センターと仙台信号通信技術センター。
- ・現在3つある地区センターに関しては、現状の業務内容を踏まえ、現時点において今後もある程度残す考え。
- ・事務業務体制の見直しに関しては2019年に見直している。駅の分担などに関しては、業務内容を洗い出し検討を行う。業務に必要な教育は行う。新JINJREに関しては、マニュアル等を見られる環境を整える。(管理者には、管理者専用の取り扱いがあるので、専用マニュアルはある。)